



学校だより

# はくれい

白山市立白嶺小学校  
白山市立白嶺中学校  
第12号  
令和7年11月21日

★★★★★はくれい こせい に ど もど じかん えがお あつ いまとど  
スローガン 白嶺の個性 ～二度と戻らない時間 笑顔を集めて今届けよう～



## 【小学3、4年、なかよし3】「守ろう！白山ろくの自然と文化」

全校で最初の発表だったため、さぞかし緊張したことだろうと思いません。それでも、落ち着いてはっきりと大きな声で発表できていました。内容も良かったです。白山ろくの色々な生き物が生まれてからどのような物を食べ、どのように生活しているか、体にどんな特徴があるか、よく調べ、よく確かめしていました。その上で、これからどうなって欲しいか、のためにどうしたらよいのか、しっかり述べていた点が素晴らしいかったです。

この地域にはどんな食べ物が昔から作られてきたか、そこにはどんな事情があったか、どんな長所があったか、雪が多く、水が豊富だからこそ美味しい白山の恵みがあることに気づけたのは大きな学びですね。



## 【小学1年、なかよし2】「はくれいの かくれんぼ」

はじめてのはくれいさいでしたが、りっぱなはっぴょうでした。みんなではなし、やくわりぶんたんをきめて、イワナつかみやアサギマダラのマーキングなど、じぶんたちでたいけんしたことをとおして、いきものにはぜつめつきぐしゅもあるということをしり、これからもしぜんをたいせつに、いきものとなかよくしていきたいとはっきりのべていたてんがとくにすばらしかったです。



## 【小学2年、なかよし1】「町たんけん〇×クイズ」

実際に、地域にあるしせつへ行ってみて、分かったことを堂々と発表していました。大判焼きの山法師(やまほうし)や郵便局、白山ろく少年自然の家、尾口駐在所、尾口サービスセンター、比咩(ひめ)の湯と、多くの場所で取材し、そこから気づいたことを自分たちの言葉で表現できていました。

しかも、クイズ形式で伝えたことで、聞いているみんなが楽しみながら、いっしょに学べたところがとても良かったです。



## 【小学5年】「日本の宝物！発掘!! ～敬語編～」

国語の時間に学習した「敬語」について、いつ、どのような場面で使うと良いのか、演技を交えながら大勢の人々にしっかりと説明することができました。時や場所、相手に応じて正しい言葉遣いができると、コミュニケーション力がアップすることがよく分かる発表でした。

聴いている人にどうしたらもっと伝わるか、工夫を重ねたことも分かりましたし、日々の学習を大切にすることの大しさも伝えることができていた点がさすがです。



## 【小学6年】「ペチ太と仲間たち ～将来の夢編～」

小学校最高学年として、各自が自分の将来の夢を堂々と発表していました。いつ、どのようなきっかけや理由でその夢を抱くようになったのか、そのために自分は今、どのような努力をしているのか、力強い宣言・主張でした。

すらすら出てくるセリフの強弱や抑揚をつけた言い回しは、相当練習した証のようでした。身振り手振りを交えた表現力も素晴らしい、あなたの夢をぜひ叶えて欲しいと応援したくなるような発表でした。

☆☆  
はくれい こせい にど もど じかん えがお あつ いまど  
白嶺の個性 ～二度と戻らない時間 笑顔を集めて今届けよう～



【中学1年】「面白すぎて眠れない！白山手取川ジオパーク」

白山手取川世界ジオパークの魅力を植物、動物(鳥、魚)の分野でよく調べ、専門家にも聞き取り調査しながら確かめるなど、深く掘り下げていました。

それぞれの分野で今、どのような問題が起きているのか、どうなると良いのか、そのために何ができるか、自分事として主張できていました。素晴らしい探究学習でした。

【どちの木】「けん玉パフォーマンス」

スピード感あふれ、難易度も高い技が次々と繰り出され、見ている者を釘付けにしました。もっと見たい、あるいは自分もチャレンジしたいと思った人も多かったことでしょう。

何度も、何度も繰り返し練習した成果が見事に発揮されたパフォーマンスでした。



【中学2年、ぶなの木】

「泰澄大師がやってきた

～君たちはどう生きるか～」

泰澄大師が白山を開山した様子をはじめ、白峰、尾口、吉野谷の歴史や伝統、伝説や芸能、産業や食文化、様々な角度からよく調べ、人口減少等、現代抱える課題にも迫っていました。

ふるさとのどこを、なぜ好きになったのか、郷土愛溢れる言い回しで、聴く者がもっと知りたくなる発表内容でした。「さすが中学2年生」と、うならしめる発表でした。

【中学3年】「20年後のふるさとのために私たちができること」

これまで積み上げてきた学びを基盤とし、その集大成として、20年後のふるさとのために一体何ができるだろうかと自らに問いかけ、仲間と協力し、一つ一つ解決してきた探究の過程がとても伝わりました。

「地域に生まれ、受け継がれてきた生業(なりわい)」「信仰の歴史と伝承されてきた芸能」「地質をはじめとする価値ある自然の遺産」「中世時代に注目した地域の歴史考証」といった切り口から、理由や根拠を明確に説明がなされていました。他国との比較も新鮮な視点でした。さすがです。



【中学校全校合唱曲】「地球星歌～笑顔のために～」

柔らかく、温かく、それでいて力強さも感じられ、とても調和のとれた歌声の響く合唱でした。プレゼン同様、自分たちの思いや考えを目の前の人たちに、どう伝えるか、どう工夫すればより伝わるか、そういう意図が歌声に表っていました。

もっとも、心を一つにして歌うこと、それ自体を皆で楽しんでいるようでした。だからこそ、聴いていて心震わされたのだと思います。

以上、校長からの講評でした。

